



市史へんさん

第263号

令和3年2月1日

小松市史編纂担当

へんさんだより

2月に入ると節分、立春を迎えますが、この節分、2月3日に固定されていると思い込んでいた方が少なくないと思います。本来、節分は、季節を分けるという意味で、季節の始まりである立春の前日を指します。となると今年の立春は2月3日になりますから、**節分は2月2日**となる訳です。3日でなく、2日が節分というレア現象、明治20年(1897)以来の**124年ぶり**とのことで、今話題になっています。1日早い節分に、コロナの邪気も一緒に早く追い払いたいものです。ちなみに、鬼祓いに、玄関先に「立春大吉」のお札を貼る風習をご存知ですか。字面を見ると、左右対称で、表から見ても裏から見ても「立春大吉」と読めるので、この字を見た鬼は、勘違いして家に入らないとか。節分で邪気を祓い、1年の始まりとされる立春をお祝いし、皆様のこれからの1年が、無事に過ごせますようお祈りいたしております。

第92・93・94回 市史講座 古文書講座

テーマ『古文書を読んでみよう』 …2月27日(土曜日)

武家(藩主)・寺院・町方(海運)の他、近代も含めた様々な古文書を読む

テーマ『武家文書を読む』 …3月7日(日曜日)

割場付留書役を務めた新保家文書を中心に武家文書を読む

*「割場」とは、諸々の雑務(警備・飛脚・掃除など)を足輕に割り当てる役所のこと

*「割場付留書役」とは、割場に関わる各種の書類を作成・整理・保存する書記にあたる役のこと

テーマ『地方(じかた)文書を読む』 …3月13日(土曜日)

能州郡奉行を務めた神保家文書から当時の村の様子を見る



講師: 袖吉 正樹氏

(金沢市立玉川図書館・小松市史専門委員)

日時: 3講座とも午後2時~3時30分

場所: 小松市公会堂第1・2会議室

受講料: 無料

定員: 各講座30名(原則3回とも受講)

申込み: 2月5日午後9時より受付開始(定員になり次第締切)

受付: 電話受付のみ(市史編纂担当 0761-24-5315まで)



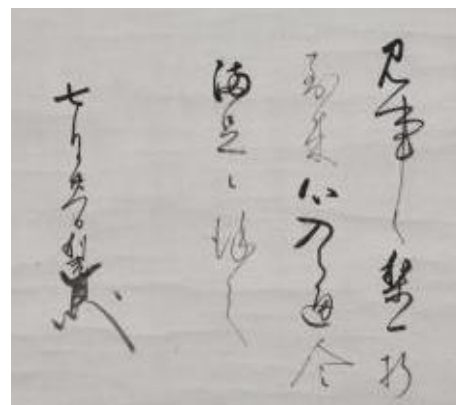
★事前申込みが必要です★



ご注意ください

古文書講座の初回は**基礎編**です。基本的なくずし字で書かれた古文書を取り上げ、古文書特有の変体仮名などを確認しながら読み解きます。特に武家文書は祐筆家による書状が多く、くせ字がなく、きちんとくずされていいため、文書の基礎的なくずし方が網羅されています。

右の文書は、前田利光(利常以前の名)が梨を贈呈された礼状です。梨と言えば、人質として小松城に居た時に、丹羽長重から梨を剥き与えられたというエピソードが思い出されます。宛先や年代は不明ですが、梨に思い入れのある利常に対する配慮が、この文書から伺えます。講座では、読み下しばかりでなく、文書の裏にある背景も読み解いていきます。



前田利光書状 梨の礼状(市立博物館蔵)



『新修 小松市史 資料編 17 考古』第3章の見どころ



第3章は、「狩猟と漁撈・採集 ～潟湖と森の恵み～」と題して、遺跡が発見された旧石器時代後期から縄文時代までを取り上げる。その年代は、旧石器時代後期が3万8000年前から1万5600年前までで、縄文時代は、それ以降2400年前までである。土器の研究から、縄文時代は更に、草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の6期に大別されている。この時代は、温暖化によって自然環境が大きく変わり、その変化に適応しながら、人々は狩猟、漁撈、植物採集を主生業に生活を営んでいた。

小松市域でも、旧石器後期～縄文草創期の石器が八里向山遺跡群や念仏林遺跡、矢田野エジリ古墳から出土し、丘陵上で狩猟活動が行われていたことが窺える。縄文早期に入ると、縄文海進と呼ばれる海面上昇が進み、市域では六橋遺跡や柴山水底貝塚で定住生活が始まった。縄文前期に最高の海水準に達し、海面は現在より2～3m程高くなった。その後、前期中葉には海水面が安定し、木場潟を望む大谷山貝塚が築かれ、居住が再開された。

縄文前期を通じて、沿岸に洲が発達し、この頃に、木場潟・今江潟・柴山潟の加賀三湖の原形が形成された。中期前半には、月津台地で念仏林南遺跡・念仏林遺跡で人々が暮らし始め、中期後半からは、大杉谷川・滓上川流域(中海遺跡)に生活の場を求めて移住している。更に梯川・鍋谷川流域の能美低地(軽海西芳寺遺跡)でも集落が営まれた。

念仏林遺跡では、堅穴住居から縄文土器がほぼ完形品(写真右)で出土し、この時代を物語る上で欠かせない遺物である。また石器も多数出土し、石錘(漁網のおもり)はこの遺跡の立地する月津台地が良好な漁場だったことを示している。



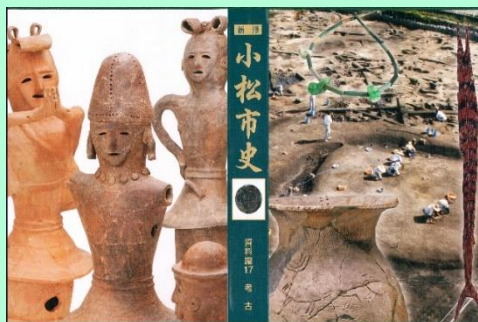
念仏林遺跡出土 縄文土器
(市埋蔵文化財センター蔵)

<1月の活動状況>

- ・1月5・15日 近現代編 DVD 収録資料調査
- ・1月15日(金) 近現代編編集打合せ
- ・1月30日(土) 近現代部会

<2月の活動予定>

- ・2月27日(土) 第92回市史講座(古文書講座)



『考古編』

定価 5,100円

販売所
図書館2階
市史編纂担当
うつのみや
小松城南店
明文堂書店
小松ツリーズ



<2月のカレンダー> 開室時間 10:00～12:30/13:00～17:00 (火～土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1/31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6

* は閉室しています。開室時間は、図書館の開館時間に合わせてあります。上記以外の時間で、御用のある方は、9時から17時まで受け付けますので、下記にご連絡ください。

小松市史編纂担当 (小松市立図書館2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19 芦城公園内
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>